

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成21年4月9日 (2009.4.9)

【公開番号】特開2006-80604(P2006-80604A)  
【公開日】平成18年3月23日 (2006.3.23)  
【年通号数】公開・登録公報2006-012  
【出願番号】特願2004-259362(P2004-259362)  
【国際特許分類】

H 0 4 M 1/274 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/274

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月23日 (2009.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

登録されたアドレス情報を記憶する第 1 の記憶手段と、  
登録可能なアドレス情報の数が前記第 1 の記憶手段より少ない第 2 の記憶手段と、  
前記アドレス情報を表示する表示手段と、  
発呼時或いはメール送信時に前記第 2 の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項 2】

登録されたアドレス情報を記憶する第 1 の記憶手段と、  
前記第 1 の記憶手段から発呼或いはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第 2 の記憶手段と、  
前記アドレス情報を表示する表示手段と、  
発呼時或いはメール送信時に前記第 2 の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項 3】

前記表示制御手段が、前記第 2 の記憶手段に記憶されたアドレス情報を発呼或いはメールの送信頻度の多い順番に配列して表示させることを特徴とする請求項 2 に記載された通信装置。

【請求項 4】

登録されたアドレス情報を記憶する第 1 の記憶手段と、  
前記第 1 の記憶手段に記憶されたアドレス情報から、所定数のアドレス情報を抽出する抽出手段と、  
前記抽出手段により、抽出されたアドレス情報を記憶する第 2 の記憶手段と、  
アドレス情報を表示する表示手段と、  
発呼時或いはメール送信時に前記第 2 の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項 5】

前記アドレス情報が、少なくとも電話番号或いはメールアドレス、氏名の情報を含むことを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか 1 項に記載された通信装置。

【請求項 6】

登録されたアドレス情報を記憶する第１の記憶手段と、前記第１の記憶手段から発呼あるいはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第２の記憶手段と、を有する携帯電話装置におけるアドレス情報の表示方法であって、

着呼時或いはメール送信時に、前記第１の記憶手段から発呼者の情報を検索して表示し、

発呼時或いはメール送信時に前記第２の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とするアドレス情報の表示方法。

【請求項７】

登録されたアドレス情報を記憶する第１の記憶手段と、前記第１の記憶手段に記憶されたアドレス情報から所定数のアドレス情報を抽出したアドレス情報を記憶する第２の記憶手段と、を有する携帯電話装置におけるアドレス情報の表示方法であって、

着呼時或いはメール送信時に、前記第１の記憶手段から発呼者の情報を検索して表示し、

発呼時或いはメール送信時に前記第２の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とするアドレス情報の表示方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置及びアドレス情報の表示方法

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、多くの電話番号やメールアドレス等を記憶する機能を有する通信装置に関し、特に、電話番号やメールアドレス等のアドレス情報の表示方法に関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

請求項１に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第１の記憶手段と、登録可能なアドレス情報の数が前記第１の記憶手段より少ない第２の記憶手段と、前記アドレス情報を表示する表示手段と、発呼時或いはメール送信時に前記第２の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

請求項２に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第１の記憶手段と、前記第１の記憶手段から発呼あるいはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第２の記憶手段と、前記アドレス情報を表示する表示手段と、発呼時或いはメール送信時に前記第２の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表

示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

請求項 3 に記載の発明は、前記表示制御手段が、前記第 2 の記憶手段に記憶されたアドレス情報を発呼あるいはメールの送信頻度の多い順番に配列して表示させることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項 4 に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第 1 の記憶手段と、前記第 1 の記憶手段に記憶されたアドレス情報から、所定数のアドレス情報を抽出する抽出手段と、前記抽出手段により、抽出されたアドレス情報を記憶する第 2 の記憶手段と、アドレス情報を表示する表示手段と、発呼時あるいはメール送信時に前記第 2 の記憶手段に記憶されたアドレス情報を前記表示手段に優先的に表示させる表示制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 5 に記載の発明は、前記アドレス情報が、少なくとも電話番号あるいはメールアドレス、氏名の情報を含むことを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項 6 に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第 1 の記憶手段と、前記第 1 の記憶手段から発呼あるいはメールの送信頻度の多い所定数のアドレス情報を抽出して記憶する第 2 の記憶手段と、を有する通信装置におけるアドレス情報の表示方法であって、着呼時あるいはメール送信時に、第 1 の記憶手段から発呼者の情報を検索して表示し、発呼時あるいはメール送信時に、第 2 の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項 7 に記載の発明は、登録されたアドレス情報を記憶する第 1 の記憶手段と、前記第 1 の記憶手段に記憶されたアドレス情報から所定数のアドレス情報を抽出したアドレス

情報を記憶する第２の記憶手段と、を有する通信装置におけるアドレス情報の表示方法であって、着呼時或いはメール送信時に、第１の記憶手段から発呼者の情報を検索して表示し、発呼時或いはメール送信時に、第２の記憶手段に記憶されたアドレス情報を表示することを特徴とする。